

2021年7月5日 佐藤理事長 閉会挨拶

「東京圏の鉄道の中長期的課題への対応とコロナ禍に関するシンポジウム」

運輸総合研究所理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり運輸総合研究所から御礼を三つ申し上げます。

まず、来賓としてご挨拶いただいた藤井国土交通審議官、基調講演をして下さった森地茂先生、特別講演をして下さった各鉄道会社幹部の皆様、長時間にわたりご参加いただいた大勢の視聴者の皆様、そして当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

本日は、「長期的社会環境の変化とコロナ禍が東京圏の鉄道利用に及ぼす影響」をテーマとしたシンポジウムでありましたが、同時に、当研究所で実施している「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査研究」の成果報告会でもありました。この「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査研究」は、基調講演をして下さった森地茂先生のご指導の下、特別講演をして下さったJR東日本、東急電鉄、東京メトロ、西武鉄道、小田急電鉄、東武鉄道の各社のご協力とご支援を受け、2012年度から継続して実施してきたものであります。改めまして、長期間にわたる森地先生のご尽力と鉄道各社のご支援に御礼を申し上げたいと思います。

また、本日のシンポジウムで報告を行った白木前研究員、松岡研究員は、それぞれ社会システム株式会社、東武鉄道から当研究所に出向

して調査研究に従事しています。この2社のほか、東急電鉄、東京メトロ、小田急電鉄、西日本鉄道、鉄道総研、鉄道運輸機構、株式会社建設技術研究所、株式会社復建エンジニアリング、成田国際空港株式会社、全日空、日本航空の各社が、出向者を派遣して下さっており、当研究所の調査研究活動は、こうした研究員に支えられております。コロナ禍の打撃を受けた厳しい状況の中においても継続していただいている各社のご支援に対し、心より感謝申し上げたいと思います。

運輸総合研究所といたしましては、今後とも、こうした研究員の力を結集し、時宜に応じたテーマを取り上げて調査研究を行い、「世の中の役に立つ」、「使いものになる」活動成果を出してまいりたいと考えております。本日ご視聴いただいた企業の方で、社員を送り込んで、私どもと一緒に調査研究活動を試みようとお考えの方がいらっしゃいましたら、大歓迎いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。また、アンケートへのご協力も、よろしく願いいたします。

本日は、最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。